

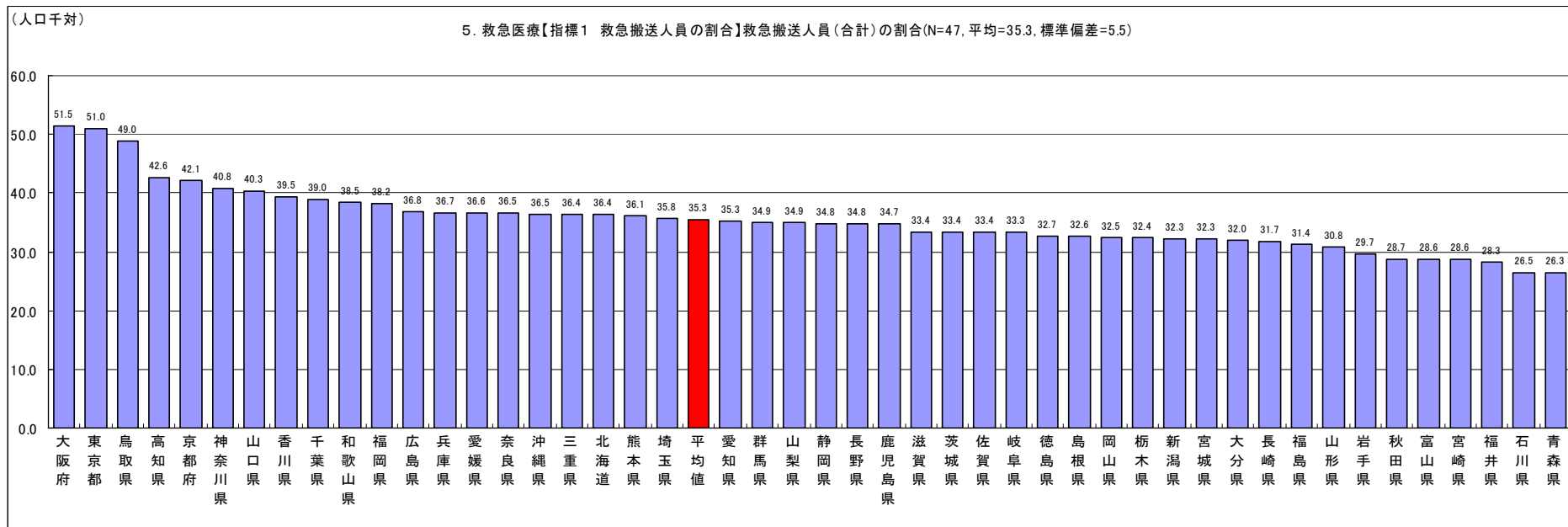
(1) 「指標」の概要

指標番号	指標名	指標の概要
1	救急搬送人員の割合	<p>「どのくらい多いか」を見るための指標です。</p> <p>救急医療の受療者としては、救急車によって搬送された患者以外にも、ヘリコプターで搬送された患者や、徒歩・自家用車等で受診した患者が考えられますが、ここでは従来から消防統計において把握されている救急車による搬送人員を用いることとします。</p> <p>二次医療圏が消防組合圏域と異なり二次医療圏ごとのデータが入手できない場合は、分子、分母とも消防組合圏域をベースとしたデータを用いており、また、搬送人員数が不明な場合は、出場件数等を用いて各県の状況を把握しています。</p>
2	応急手当受講率	<p>「どのくらい健康に留意しているか（どのくらい救急医療への関心を持っているか）」を見るための指標です。</p> <p>ここでは、関心の高さを反映した指標として、応急手当講習の受講状況を取り上げています。高等学校や自動車教習所、その他民間企業などでも講習が実施されていますが、関心の高さを把握するため、自発的な受講と考えられる「都道府県、消防、市町村（学校で実施されたものを除く）、日本赤十字社」での講習の受講者を把握しています。</p> <p>この指標が高いほど地域の救急医療への関心が高いことを表していると考えられます。</p>
3	バイスタンダーによる心肺蘇生法実施率	<p>「どのくらい健康に留意しているか（どのくらい救急医療への関心を持っているか）」を見るための指標です。</p> <p>ここでは、関心の高さを反映した指標として、バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）による心配蘇生法の実施状況を取り上げています。</p> <p>この指標が高いほど、地域の救急医療への関心が高いことをあらわしていると考えられます。</p>
4	公共施設のAED設置割合	<p>「適切な救護が受けられるか」を見るための指標です。</p> <p>ここでは、「適切な救護」を反映する指標として、自治体によるAEDの設置状況を把握することとしています。実際にはAEDは鉄道事業者、デパート、病院等によっても設置されているものですが、設置主体が多様で設置台数の正確な把握が困難であることから、自治体によって設置されたものの台数をもって、指標としました。</p> <p>この指標が高いほど、適切な救護を受けられる水準が高いことをあらわしていると考えられます。</p>
5	医療機能情報公開率 【がん5と同じ】	<p>「どこに行ったらよいか」を見るための指標です。</p> <p>病気になったときにどの病院を受診したらよいか分かるように、医療機関の情報が誰でもすぐに入手できることが求められます。ここでは、医療機関情報提供の度合いを反映した指標として、都道府県や医師会等の職能団体によってインターネット上で情報が公開されている医療機関の割合を把握します。</p> <p>本指標は高いことが望ましい指標です。</p>
6	重症患者の救命救急センター搬送率	<p>「適切な医療が受けられるのか」を見るための指標です。</p> <p>適切な医療のためには、医療機関の役割分担が重要となります。救命救急センターは三次救急を担う医療機関として位置づけられており、重症、重篤患者をカバーできているかどうかを見るための指標として、重症患者の救命救急センター搬送率を把握します。</p> <p>重症者および重篤者の定義が医療機関によって異なることも考えられますが、現時点では医療機関からの報告ベースの数字を用いて集計しています。</p>

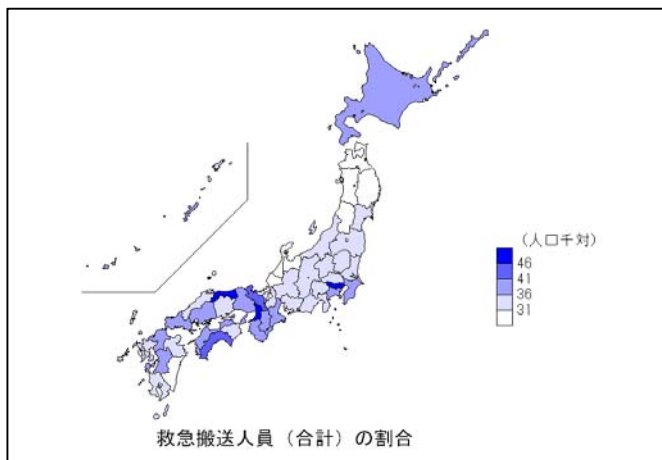
指標 番号	指標名	指標の概要
7	メディカル コントロール 体制の有 無	<p>「適切な医療が受けられるのか」を見るための指標です。</p> <p>ここではメディカルコントロール体制の有無を把握します。メディカルコントロール体制とは、医療機関と消防との連携の体制を指し、救急搬送において医師と救急隊員が連携しながら適切かつ質の高い医療が受けることができるものとされています。本指標は高いことが望ましい指標です。</p>
8	救命救急セ ンターA評 価施設割合	<p>「適切な医療が受けられるのか」を見るための指標です。</p> <p>厚生労働省では、救命救急センターの質評価に取り組んでおり、各救命救急センターからの診療体制や患者受入実績等に関する報告結果を点数化したものを基本として、各施設の充実段階をA, B, Cで評価しています。本指標は高いことが望ましい指標です。</p>

(2)「指標」の結果一覧

・ 救急医療-1 救急搬送人員の割合



98



- ・ 「どのくらい多いか」を見るための指標として用いています。
- ・ 大阪府が最も高く、青森県が最も低い結果です。平均値は 35.3、標準偏差は 5.5 です。